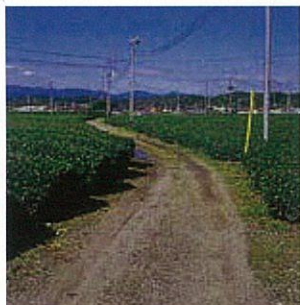


【見どころ案内】

金子台の茶畑と吠道

武蔵野台地北西部に位置する金子台は、狭山茶の主産地で、約350haに及ぶ茶畑が台地一面に広がります。茶畑の中を通る吠道は、昔、農作業で吠(わらむしろの袋)に入れた肥料を担いで歩いた道だったのでしょ。



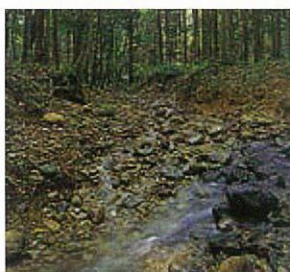
旧根通り

「根通り」とは、山の根(ふもと)を通る道で、加治丘陵の山麓を民家の間を縫うように続いています。現在では、霞川沿いの県道を根通りと呼ぶようになっています。



八幡神社

歴史を感じさせる参道は加治丘陵の登り口にもなっています。神仏習合を象徴する懸仏が2面、市の指定文化財になっています。



緑のトラスト保全第6号地 「加治丘陵・唐沢流域樹林地」

埼玉県緑のトラスト保全地として指定された、加治丘陵内を流れる唐沢沿いの樹林地です。落葉広葉樹林と針葉樹林がモザイク状に分布しているため、動植物の種類が豊富な地域となっています。

上谷ヶ貫の獅子舞

悪魔払いと五穀豊穡を祈願して、毎年10月の第1日曜日に上谷ヶ貫の八幡神社と西光院に奉納される獅子舞です。市指定無形民俗文化財に指定されています。



⑤ 茶畑と丘陵を歩く

【距離】約10km 【所要時間】約3時間

関東以北では最大規模と言われる金子台の広大な茶畑と、さいたま緑のトラスト保全地である「唐沢トラスト地」を歩くコースです。

●コース(※【50】は入間市景観50選です。)

[金子駅]【50】・桜並木【50】→金子支所・図書館・公民館→金子台の茶畑【50】・吠道→霞川→[中神バス停]→旧根通り→八幡神社→金子神社→唐沢トラスト地→[金子駅]

元気な入間 ふれあい茶ん歩道 7つのコース

いろいろな入間市にふれあってください。

- ①「里山をめぐる」
- ②「入間川を歩く」
- ③「湧水をめぐる」
- ④「加治丘陵を楽しむ」
- ⑤「茶畑と丘陵を歩く」
- ⑥「狭山茶の歴史を訪ねる」
- ⑦「武蔵野を歩く」

お願い

- ゴミは捨てないで家に持ち帰りましょう。
- 火の元には十分に注意しましょう。
- コース外の畑や山林に勝手に入らないようにしましょう。
- 山野草を採らないでください。みんなの自然を守りましょう。

交通のご案内



発行 入間市役所農業振興課 (2018.7)

〒358-8511 埼玉県入間市豊岡1-16-1 TEL 04-2964-1111

ホームページアドレス <http://www.city.iruma.saitama.jp/>

モバイルサイト <http://m.city.iruma.saitama.jp/>

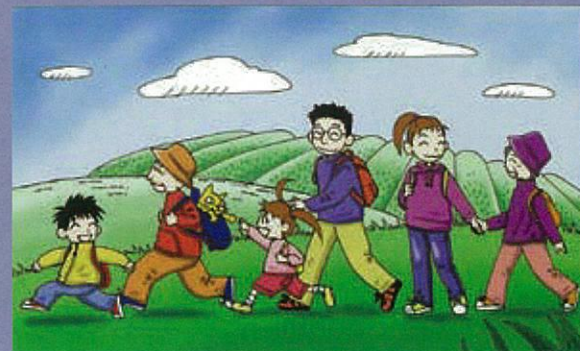
無断転載・複製を禁ず

大豆油インク使用

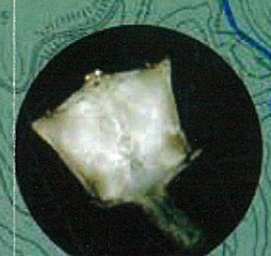


元気な入間 ふれあい茶ん歩道

⑤ 茶畑と丘陵を歩く



埼玉県入間市



⑤ 茶畑と丘陵を歩く

- 本コース
- 他のコース
- 道標
- 案内看板



金子駅

唐沢トラスト地

ムササビ

加治丘陵

コース4



金子台

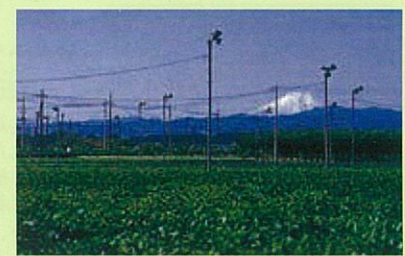
金子台の茶畑

五月の新茶シーズンはあざやかな緑色のじゅうたんが広がります。

平坦な台地一面に広がる茶畑の中を歩きます。

畑の中のゆるやかなのぼり

ふれあいマメ知識
「防霜ファン」



晩春、新芽が出始めた頃の遅霜はお茶の大敵！そこで、地表面付近が冷え込む夜に、上層6~7mの空気を茶畑に送って霜が降りるのを防ぐための扇風機です。

埼玉県茶業研究所

埼玉県の茶業の専門研究機関です。平日は一部見学も出来ます。

中神バス停

- 入間市駅行き
- 南栗行
- 河辺駅行き
- 七日市場行き
- 金子駅行き

谷ヶ貫寺バス停

上谷ヶ貫バス停

西三ツ木バス停

厚竹バス停

金子小学校

金子中学校

金子支所 図書館・公民館

新山展望台

曹油屋の池

前村環境改善センター

山形神社

里山風景がきれい

横断注意

横断注意

横断注意

横断注意

横断注意

横断注意

横断注意

横断注意

横断注意

横断注意

沢治いの道

急な下り坂 注意！

平坦な尾根道

分岐点注意！

ここで下れば、西三ツ木のバス停に下りられます。

ゆるやかな上り坂

分岐点注意

竹林がきれい

複雑上の歩きやすい山道

中央橋

八瀬橋

一番は引がきれい

森の中の上り坂

八幡神社

千橋

川治いの草ばら道

千橋

千橋

千橋

千橋

千橋

千橋

千橋

千橋

千橋

千橋

千橋

千橋

千橋

千橋